

生物・医薬品工学研究センターセミナー

来聴歓迎(参加自由)

日時: 令和6年12月25日(水) 13:10~14:40
場所: 富山県立大学 N-202
演者: 福山 圭 氏
(富山県衛生研究所ウイルス部主任研究員)
演題: 「新規抗 HIV 薬イスラトラビルの創製と効率的合成経路の探索、及び今後の展開について」

〈内容〉近年ウイルス感染症が世界的な問題となっており抗ウイルス薬の創製は喫緊の研究課題である。講演者は約 40 年ぶりの第 2 報目となる D-リボフラノース 4 位の位置選択・立体選択的 4 級炭素化法について報告している。この方法は安価な基質と試薬、そして簡便な操作を特徴とし、有用糖中間体を kg スケールで大量合成することが可能となった。得られた有用糖中間体は架橋化核酸 (BNA / LNA) や抗 HIV 治療薬イスラトラビル (EFdA、MK-8591) など複数箇所修飾核酸類の最も効率的な有機合成経路に必要不可欠なものとなっている。講演では核酸系抗生物質の研究背景とイスラトラビルの創製過程について説明し、有用糖中間体に至った経緯や今後の展開について解説する。

キーワード: 抗ウイルス薬、複数箇所修飾核酸、4 位 4 置換リボフラノース、創薬化学、ウイルス学

連絡先: 富山県立大学工学部生物工学科 占部大介
Tel: 0766-56-7500 (1568)、Fax: 0766-56-2498
e-mail: urabe@pu-toyama.ac.jp